

# 行政視察に行きました。

委員会名	派遣委員等	期間	視察先	調査項目
総務文教 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>今西菊乃</li> <li>榑原 伸</li> <li>議会事務局</li> <li>久間 進</li> <li>小金丸益明</li> <li>村部 茂</li> <li>中田恭一</li> <li>呼子 好</li> </ul>	11月7日 ～9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>垂水市</li> <li>武雄市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の取り組み(垂水市)</li> <li>「My図書館」事業の概要調査(武雄市)</li> <li>タブレット端末導入の授業活用状況(武雄市)</li> </ul>
		<p>垂水市の自主防災組織は、「自分の命は自分で、自分たちの地域は自分たちで守り、行政を当てにするな」をモットーに、防災を地域おこしへ繋げる素晴らしい取り組みであった。</p> <p>武雄市のMy図書館は、iPadやスマートフォンを使い、図書館へ行きにくい人達のための事業で、20～50歳代まで広く活用されている。タブレット型端末を活用した小中学校の授業導入により、児童の学習への興味・関心度が上がっている。壱岐市も、IT社会へ対応する教育の一環として取り入れたい事業である。</p> <p>【写真：垂水市自主防災組織の視察】</p>		
厚生 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田正一</li> <li>豊坂敏文</li> <li>議会事務局</li> <li>市民部長</li> <li>市山和幸</li> <li>音嶋正吾</li> <li>米村和久</li> <li>川原裕喜</li> <li>鶴瀬和博</li> <li>久保田恒憲</li> </ul>	10月29日 ～31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀県 有田町</li> <li>福岡市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的障害者援護施設(有田町)「あすなろの里」施設の運用状況</li> <li>福岡市立「松濤園」救護ホームの運用状況</li> </ul>
		<p>知的障害者施設「あすなろの里」は、壱岐市にはない施設であり、島外32施設に60人の方が入所されている状況を改善できるのではと思いを視察した。</p> <p>福岡市立「松濤園」は、生活保護受給者で身体・精神に著しく障害がある人を対象にした救護ホーム。一人ひとりに応じた処遇計画を立て、生きがいのある自立に向けた生活をしている。壱岐も高齢化が進む中、介護状況を鑑み早急に整備する必要がある。</p> <p>【写真：福岡市立「松濤園」】</p>		
産業建設 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>田原輝男</li> <li>瀬戸口和幸</li> <li>議会事務局</li> <li>大久保洪昭</li> <li>深見義輝</li> <li>吉井弘二</li> <li>牧永 護</li> <li>町田光浩</li> </ul>	10月28日 ～30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐世保市</li> <li>福岡市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国和牛能力共進会の応援(佐世保市)</li> <li>観光関係について(福岡市)</li> <li>外国人誘致、教育旅行誘致、カワイイ区の現状博多港周辺の今後の展開、壱岐市との連携等</li> </ul>
		<p>全国和牛共進会の視察と壱岐市出品牛の応援に出向いた。壱岐市から出品された6頭は、全頭が優等賞に輝き「壱岐牛」の名声を高めた。</p> <p>福岡市では、経済観光文化局が推進する5事業の観光行政について説明を受けた。平成17年度から壱岐市職員を福岡市経済観光部に派遣しており、福岡市観光ガイドブックに壱岐の観光情報を掲載しPRをしているが、福岡市の取り組みを参考に、壱岐市の活性化につなげたい。</p> <p>【写真：福岡市築港の免税店を視察】</p>		
議会運営 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴瀬和博</li> <li>今西菊乃</li> <li>議会事務局</li> <li>小金丸益明</li> <li>町田正一</li> <li>榑崎文雄</li> <li>田原輝男</li> <li>深見義輝</li> </ul>	10月17日 ～19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>田川市議会</li> <li>鹿島市議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会基本条例制定後の運用状況(両市議会)</li> <li>議会改革(両市議会)</li> <li>子ども議会(鹿島市議会)</li> </ul>
		<p>田川市議会は市民に開かれた議会を柱として、鹿島市議会は情報公開度全国20位にランキングされるなど、情報発信に力を入れ、本会議だけでなく常任委員会等も公開発信している。子ども議会は、子ども達の目線で市の課題や問題指摘をすることは市にとっても刺激となり実施すべきである。</p> <p>市議会と市の情報発信力の強化と情報の一元化、管理運用する万全の体制を整える必要がある。</p> <p>【写真：鹿島市議会を視察】</p>		
議会広報 特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田光浩</li> <li>榑原 伸</li> <li>議会事務局</li> <li>久保田恒憲</li> <li>町田正一</li> <li>土谷和美</li> <li>瀬戸口和幸</li> <li>呼子 好</li> </ul>	10月4日 ～6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>えびの市議会</li> <li>嬉野市議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報常任委員会の設置(えびの市)</li> <li>議会改革度ランキング全国3位に至る議会広報の活用策等(嬉野市)</li> <li>議会広報誌の編集方法(両市議会)</li> </ul>
		<p>今回、2市議会を視察し「議会広報」の充実のために力を入れ、市民参加型の議会を目指すための改革が求められていることを痛感した。</p> <p>えびの市議会のように常任委員会化するならば、議員全員の一致した意識改革が必要となる。嬉野市議会のように、任期中、議会活性化特別委員会と議会広報編集特別委員会のどちらにも2年間席を置くシステムについては、「次回選挙後の運営に取り入れたい」との意見が我が委員からも出ていた。</p> <p>【写真：嬉野市議会の編集室を視察】</p>		